



学校だより



NO.8
東京女学館小学校
令和2年12月23日

6年生社会科見学

12月4日(金)

6年A組 児童

例年6月に行っていた鎌倉校外学習に、今年は紅葉の時期に行くことになりました。最初に行ったのは鶴岡八幡宮です。豪華で見事なところもあれば、対照的に閑静で落ち着いたところもありました。私は、段葛がとても印象に残っています。長い道を歩き終わり鳥居を目の前にした時の達成感が大きかったです。次に会席料理の昼食を頂きました。とてもおいしくてすぐに全部食べてしまいました。午後は、覚園寺に行きました。全体的に華やかな鶴岡八幡宮とは違う、物静かな美しさがあり、日々の疲れが綺麗に浄化されていくようでした。心に残っているのは、薬師堂です。薬師堂に入った瞬間に目に飛び込んでくる3体の巨大な仏様は圧巻でした。また、左右の壁際に6体ずつ祀られた十二神将像(干支の守り神)もそれぞれが個性的でした。そして、5色のろうソクを一人一本ずつ、75本灯したことも印象深かったです。さらに紅葉も美しく、風の音や鳥のさえずりも聞こえてきました。充実した素晴らしい一日でした。



6年B組 児童

私が一番印象に残っているものは鶴岡八幡宮の段葛と本宮、そして覚園寺の十二神将の3つです。段葛は阿吽の狛犬像が建っているところまで行きました。本宮はとても景色が良かったです。あの長い階段を上り切って後ろをふり返ってみると、鎌倉の町が一望できてとてもきれいでした。また本宮を下から見上げると左右対称に造られていました。今から800年以上も前にもかかわらず、よくこのような美しい形に造ることができたなと思いました。覚園寺の十二神将はそれぞれ十二支の動物たちがテーマとなって造られていることを初めて知り、とても興味深く思いました。また訪れる機会があれば、もっとよく見て全ての動物がどこにいるか見つけたいです。心に残る鎌倉見学でした。



3年生社会科見学 12月7日(月)

給食後に路線バス数台に分乗し、渋谷スクランブルスクエアの屋上「渋谷SKY」へ出かけました。お天気に恵まれ、屋上からの素晴らしい眺めをiPadにおさめながら東西南北を確認し、「まちたんけん」をしました。以下、児童の感想を紹介します。

3年A組 児童

スクランブルスクエアに初めて行きました。スカイツリーや東京タワーやお父さんの会社も見えました。あと世界地図の様な物が床にありました。屋上から見た人はアリの様でした。他にも卒と言う漢字に似たような漢字が書かれてある丸い物もありました。特に驚いたのは、お父さんの会社が見えたことです。お父さんの会社が渋谷にあるかな、と見ていたらあったので嬉しかったです。次は家族と一緒に行って、今日見つけられなかった場所を見つけないです。



3年B組 児童

屋上から見るけしきは一面ビルでびっくりしました。渋谷は高いビルがいっぱいで、マンションや会社等がものすごく多かったです。ビル以外にも、東京タワーと代々木公園、富士山が見えました。今日はとてもはれていたのきれいに見えました。その中でも代々木公園は遠くから見ても自ぜんがいっぱいで心にやさしかったです。そして、iPadで東西南北の様子を写真でとりました。方角をかくにんすると、学校も見えました。小さかったけれど、十字マークが見えたのでとなりだなと分かり、なんとか見つけることができました。また屋上からたんけんしてみたいです。



1年生 12月9日(水)

おちばひろい

2年生 12月10日(木)

1年A組 児童

おちばひろいにいきました。いろいろどりのカラフルなはっぱがありました。いちょうもきれいでした。それで、そのはっぱでクリスマスリースをつくりました。とてもみんな、もりもりなすてきなリースがつくれていてかんしんしました。おちばやあかいみや小さなどんぐりや大きなどんぐり、いろいろなふしぎなはっぱがあつてうれしかったです。

1年B組 児童

こうえんはとてもきれいでした。ぎんなんのにおいはキツかったけれど、ハートのはっぱがかわいかったです。はっぱでつくった山が、わたしがいないあいだにひとまわり大きくなっていてびっくりしました。きれいなはっぱをえらぶのがむずかしくて、さがすのにじかんがかかってしまいました。でも、たのしかったです。こころのなかにまだのこっています。



2年A組 児童

よ木公園は、きれいなおちばでいっぱい、じゅうたんをしいたみたいでした。わたしは早くおちばをひろいたくて、そわそわしていました。まつぼっくりをさがしたり、おちばのシャワーであそんだり、いろいろしたけれど、一番楽しかったのは、はっぱのおふとんです。先生やお友だちが楽しそうにはっぱのおふとんに入っていたので、わたしもやりたくなりました。中に入るとあたたかかったです。なので、ずっと中にいたかったです。おき上がるしゅん間は、はっぱがばあつとなつて、すずしくなりました。中に入るのも楽しかったけれど、ほかの人をうめるのも楽しかったです。とても楽しかったので、お友だちと「また行きたいね」と話しました。

2年B組 児童

お友だちと、はっぱをたくさんあつめて、山にしてみました。それを空にばら一つとなげてあそぶのが楽しかったです。頭やトレーニングウェアにたくさんはっぱがついてくすぐったかったです。ふしぎだなと思ったことがあります。もみじのはっぱは赤なのに、いちょうのはっぱは黄色なのです。おうちに帰ってしらべてみました。いちょうのはっぱにはみどりと黄色の色そがもともととりょう方あるそうです。春や夏はみどりの色そが目立っているけれど、秋になると、黄色の色そが目立ってくるそうです。秋になると黄色いおようふくをきるのだと思っていたけれど、みどりのおようふくをぬいでいるのだと思いました。みんなでおちばでドレスを作りました。わたしは「顔」をイメージして作りました。楽しかったのでわらった顔にしました。またひろいに行きたいです。



すずかけ華道



11月25日から12月7日まで、1～4年生はK先生、5・6年生はI先生のご指導の下、ソーシャルディスタンスを保ちながらの授業となりました。1・3・4年生はペットボトルを利用した手作りのお花器に、2年生は図工の時間に制作した手作りの焼き物のお花器に、5・6年生は水盤に、3種類の花材をいけました。授業の形態は変わっても、児童一人ひとりの眼差しは真剣そのもので、どの作品も個性にあふれ、一人ひとり作品に込めた気持ちは例年以上のもが感じられました。来年度は例年通りの授業ができるよう願うばかりです。今年度は各クラス1回ずつの授業でしたので、授業を通してお伝えいただけなかったことなどを五十野先生より文章でお寄せいただきました。4・5年生の授業の感想と共にお読みください。

「花はいけたら、人になるのだ」これは草月流初代家元、勅使河原蒼風氏が花伝書の中で書いている言葉です。いける人の個性やその時の感情により、いけばなは変化します。「自分らしくいける」という事は「自分らしく生きているか」と問われている事でもあります。すずかけのいけばなを担当させて頂いてから長い年月が過ぎました。良いいけばなをいけるための指導だけでなく、花をいける時のマナーにも厳しくしてきました。上手な人ほど花をいける前の準備、いけた後の片づけなどもきれいにします。それが出来て初めて良いいけばなをいけたと言えます。

「花は大切にすること、花は惜しまぬこと」これも勅使河原蒼風氏の言葉です。枝、葉、花それぞれを生かしきるために「切る」という行為を繰り返すのがいけばなです。切ってしまうのはもったいないと言う人がいます。でも「自分の花」をいけるために必要なものとそうでないものを選んでいかなければなりません。自分の心の声に耳を澄ませて、花と語らいながらいける事が大切な事です。花はいつも誰かのためにいけます。それは自分のためでも良いのです。

一輪の花が人の心を励まし、慰め、豊かにしてくれる事もあります。それが自分の個性を大切にしたい、心のこもったいけばななら人を感動させる事も出来るのです。東京女学館小学校でいけばなを学んだ皆様が、これからの人生の中で大きな花を咲かせる事を楽しみにしております。

いけばな草月流 本部講師



『美しい花との時間』

4 B 児童

私は、すずかけの授業が大好きです。日本の伝統を受け継ぐ授業だと思っています。華道の授業が始まると、お花が配られました。お花の名前は、バランスを整える「赤芽やなぎ」、オアシスをかくしつつ色合いを整える「ゴッドセフィアナ」、最後に、中心になる「スプレーカーネーション」です。先生は、ポイントを説明してくださると、「後は自分なりにいけてください。」とおっしゃいました。最初はうまくいかなくて不安でしたが、「お花と会話」をすると、お花がいけてほしい所にいけてあげると笑って、いけてほしい所ではしょんぼりした気がして、楽しかったです。いけ終わり、先生に見ていただくと「すばらしい」とおっしゃって、とてもうれしかったです。私の好きな本に、「本当に大切な物は目に見えない」と何度も書いてありますが、「本当だ」と、とても感動しました。心がいやされて、あたたかい時間でした。

『個性豊かな花たちが集まる花畑』

5 B 児童

初めて自由花の作品に挑戦しました。ニューサイラン・バラ・かすみ草という花材を見た時、それぞれとても特長があると感じました。そして、その花の特長をいかした花畑をイメージできました。ニューサイランで作った空間に、かすみ草が小さな顔をのぞかせたり、背の高いバラの下に、かすみ草が広がったりと、素敵な花畑が完成しました。先生から表現した点をほめていただき、自由花が大好きになりました。



セレクト給食

栄養士

11月27日にバラエティ給食の一つ、セレクト給食を実施いたしました。今回ははじめてロイロノートを使って選んでもらいましたが、各クラス問題なく選択出来ていました。バラエティ給食があった後に必ず書く感想文ですが、児童の嗜好、給食への興味などが分かって勉強になり、楽しく拝見しています。児童にとっては、文字にすることで、自分の嗜好、食事についての思いなどを考えて頭で整理する機会にもなり、バラエティ給食の意義につながっています。学校の親子丼は、しっかり火を通すため、おつゆと卵の部分が分離して「つゆだく」になってしまうのですが、そのおつゆとごはんを一緒に食べるのが美味しい！というような意見を多数目にしました。目にした時は、面白いと思いましたが、根菜煮などの硬いものが人気がないのにも繋がっており、咀嚼の弱さを感じます。和食献立には、おつゆをつけたい。牛乳の代わりにお茶にしたい。と思う時もありますが、あえてつけないのも、塩分を減らす、カルシウムを強化する以外にも、咀嚼をしっかり出来る献立として意味があると再認識しました。総評として、おのおの楽しんでいる様子が伺える感想文でした。それも、バラエティ給食の大事な意義の一つです。次回も楽しみにしてもらいたいと思います。



12月の生活目標 きまりよい生活をする

集団生活では、お互いに気持ちよく生活するために、きまりを守って生活することが大切になります。廊下や階段を移動するときは走らず、特に曲がり角に気をつけるよう言葉かけをしました。校庭や体育館では、ケガに気をつけてきまりを守って元気に遊ぶように見守っております。登下校に関しましては、今後とも学校外では待ち合わせはせず、非常時以外は携帯電話を使用しないてください。

1月の行事予定

- 7日 (木) 3学期始業式・3時間授業・軽食
- 8日 (金) 4時間授業・給食開始・各委員会 (1月分)
- 11日 (月) 成人の日
- 12日 (火) 児童朝会・代表委員会 (後期②)
- 19日 (火) TV朝会・通学路別下校訓練 (午後2時15分開始)・掃除なし
- 21日 (木) 避難訓練・6年中学算数授業
- 22日 (金) 体操朝会・クラブ活動
- 25日 (月) 書き初め準備
- 26日 (火) 書き初め大会 (体育館)
- 28日 (木) 漢字検定



冬休みの生活について

生活指導部長

次のことに気をつけて、充実した冬休みを送りましょう。

1. 規則正しい生活をする。
2. 交通ルールを守る。
3. 危険な遊びをしない。
4. 無駄遣いをしない。
5. 不審者や不審な電話、訪問者に気をつける。

☆家の約束を決めて、楽しく安全に過ごしましょう。



東京女学館小学校ホームページ <http://www.tjk.jp/p/>